

大和合金(本社・東京都板橋区)の萩野源次郎社長は東京都千代田区の法政大学市ヶ谷キャンパスで行われた「日本ではいちばん大切にしたい会社大賞」の表彰式で講演した。写真。同社は中小企業庁長官賞を受けおり、萩野社長は人を大切にしながら成長を目指す経営について語った。

同社は若手や女性が増えており18歳〜84歳まで幅広い年代の社員が活躍。さらに国籍を超えた採用で海外市場に対応する取り組みも進めている。萩野社長は組織作りについて「多彩な人材が集えば、様々な課題に強く立ち向かえる」と話した。

受賞の大和合金・萩野社長が講演

「主体的にビジネス切り拓く」



銅合金の押出や鋳鍛造品の製造現場は厳しさもあるが「工夫・感動・希望の3Kで、世の中にまだない材料を作る開発に力を入れていく」とし、山椒のように入っても存在感のある企業を目指す力を込めた。

人材育成では異動を活発化し、ボトルネック工程に応援を派遣できる体制を整えており、技術

空機材料などの極めて高い品質要求に安定的に応えるため管理能力強化にも力を入れているほか「中国の古典や論語を学ぶ活動で人間力も高めている」と説明。

今後については「経営をさらに安定化させるため、主体的にビジネスを切り拓く取り組みにさらに注力する」と強調。同社では社員旅行など職場の絆を強めるイベントが活発で「中小企業の良さを失わず、結束力ある中堅企業になっていきたい」と話した。

また経営ポリシーは「仕事を通じ社員に人間的な成長を目指してもらうこと」とし、その中に関する勉強会も活発と説明。加えて航

日本でいちばん大切にしたい会社大賞

明。加えて航